

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月20日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	土木部		課名	相模湖建設課	課長名	山崎勝男
平成19年度部名	土木部		課名	相模湖建設課	課長名	山崎勝男
事務事業名	公共下水道不明水侵入対策事業					
予算上の事務事業名	公共下水道不明水侵入対策事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32630		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第6節 下水道の整備と管理					
施策名	第3施策 下水道管理の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
下水道法第3条(管理)						
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼			5 事業開始年度	平成18年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
公共下水道污水管の整備の進捗に合わせ、雨天時の不明水侵入が大きな問題となっている。不明水の実態調査により、浸入原因の適正な把握と、効果的な排除対策を実施し、公共下水道施設の適正な維持管理を実現する。					公共下水道整備済区域	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
污水管渠内のTVカメラ調査等を実施						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	725	830	830	
一般財源	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	725	830	830	
人件費の合計	0	0	230	230	230	
事業コスト合計	0	0	955	1,060	1,060	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	公共下水道不明水侵入対策事業			対象名称 と単位	調査延長(m)	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	955	1,060	1,060	
対 象 数	0	0	343	300	300	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	2,784	3,533	3,533	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.27	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						

指標名と単位	調査延長 (m)	指標式と指標の説明	調査延長 (m)		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	343.0		
目標	0.0	0.0	343.0	300.0	300.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	調査延長 (m)	指標式と指標の説明	調査延長 (m)		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	343.0		
目標	0.0	0.0	343.0	300.0	300.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
計画的な点検実施及び調査結果により、補修の必要な箇所を優先順位を把握する。			経年劣化に対する補修費の増加が懸念される。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。					